

(第1主題「韓国と日本のロースクール」：レジュメ2)

## 韓南大学ロースクールの推進状況と目標

韓南大学校法科大学長 李 錫 龍  
(LEE, Seok Yong)

### I. 法学専門大学院の日程

- 『法学専門大学院の設置・運営に関する法律』(2007年7月3日 国会通過)
  - ― 3年制の法学専門大学院 2009年3月 開院
  - ― 教育部長官(日本の文部科学省)は13人の法学教育委員会(教授, 裁判官, 検事, 弁護士から構成)審議を経て大学院を認可する。
  - ― 教授―学生の割合は1対12で, 教員の5分の1以上は国内外の弁護士の資格を有する5年以上の実務経歴者
  - ― 入学には学部の成績, 適性の試験(LEET), 外国語能力, ボランティア活動を考慮
  
- 後続日程
  - ― ロースクールの入学定員の決定, 認可基準の確定: 2007.7-2007.11
  - ― 認可申込み公告および申込み書類受付: 2007.11
  - ― 現地調査団の現地審査および認可対象大学の予備選定: 2007.12-2008.1
  - ― 最終設置認可: 2008.10
  - ― 法学専門大学院の開院: 2009.3

### II. 韓南大学ロースクールの推進状況

- 法学専門大学院の設立のためには11月末まで申込み書類の受付
- 本校は“New Vision 2015”等で法学専門大学院の導入が確定されると, 法科

大学を専門大学院体制に転換し、20名程の教授追加招聘、独立建物の確保等を通じて名門の法学専門大学院に育成するという未来の青写真を用意したことがある。

- 韓南大学校は『法学専門大学院制度に関する研究報告書』（2002.11.9）、『韓南大学校法学専門大学院設置方案に関する研究報告書』（2005.7.20）等の政策研究を遂行し、2005年6月には「韓南大学校法学専門大学院推進委員会」を構成する等、ロースクールの導入に備えてきた。
- 韓南大学校は1994年既存の法学教育制度に対する反省に基づいて法学教育の改編を推進してきた。韓南大学校法科大学は科学技術法を特性化分野に設定し、「科学技術法研究院」の設立と学術誌である「科学技術法研究」の発刊を通じてわが国で一番特性化されている大学として位置づけられた。
- 韓南大学校法科大学は24名の有能な教授陣を備えた特性化された法科大学に生まれ変わろうとしており、快適で利便性の優れた独立の建物を確保するなど学校当局との緊密な協調の下、ロースクールの設立以後の青写真を設計することに邁進している。

### III. 韓南大学ロースクールの当為性

- 教授の研究実績：2000年 中央日報が実施した全国法科大学評価の中で教授研究部分7位の成績から見られるように、教授の研究実績が卓越である。
- 特性化：本校は科学技術法研究院（1995）と知的財産権法学科の開設、学術誌『科学技術法研究』の持続的な発刊をもって国内で一番特性化した大学として評価されている。
- 活発な国際交流：中国の大連民族大学と和同政法大学、日本の熊本大学と南山大学、フィリピンのフィリピン大学とサンベダ大学等との実質的な教授および学生の交流と学術セミナー等を通じて相当の国際交流実績を積み上げてきた。本校は書類だけの国際交流ではない実質的で多様な教授・学生の交流実績を保有しており、他の大学の国際交流とは差別化されている。
- 行政複合都市キャンパス：本校は将来行政複合都市で唯一のロースクールとして法政策学の研究を通じて国家法政策の樹立に寄与しようとする夢を持っている。

#### IV. 推進体系

- 法学専門大学院推進委員会：総長を委員長とし、主要処長と法大学長、外部の著名人士から構成
- 法学専門大学院実務推進委員会：法大学長を委員長とし、関連部署長と実務担当者、法大TFT委員長から構成
- 法科大学ロースクール準備委員会：法大学長を共同委員長とし、法大教授全員と同門会等の外部から構成

#### V. 教授現況と充員計画

- 現在、専任教授は24名で、弁護士の資格を保有してから5年以上になる実務経歴のある教員は5名である。
- 専攻別の教授現況
  - 公法：4名
  - 民法：3名
  - 刑法：3名
  - 法律実務：5名
  - 科学技術法：3名（特許法2名を含む）
  - 商事法：3名
  - 国際法：2名
  - 社会法：1名

#### VI. 空間と施設

- 生涯教育院の建物を5階に増改築して、ロースクールの独立の建物として確保する予定であり、本校の行政複合都市キャンパスを備えたときには行政複合都市へ進出
- 本校は毎年入学定員80名、編制定員240名の中間規模のロースクールを目標にそれに適合した空間と施設を確保する予定である。
- 本校のロースクールの建物には、法学専門図書館、講義室、セミナー室、模擬法廷、教授研究室、専門法研究所、法律相談室、情報化室、行政室等必要な施設

が入り、別途の専用寮を確保

- 法学専門図書館には4万巻の蔵書とWestlaw等、主要な国内外の法律情報システムを確保

## VII. 韓南大学ロースクールの目標

### 1. 科学技術法に特性化されたロースクール

#### ○ 背景

- 大徳研究団地の需要に応じ
- 科学技術法研究院を通じる既存の卓越な成果継承

#### ○ 目標

- 科学技術法専門弁護士輩出
- 科学技術法分野の公職に進出する人材養成
- わが国の科学技術政策 最高のシンクタンク志向

### 2. 人権法に特性化されたロースクール

#### ○ 背景

- 韓南大学の創学理念
- 人権の重要性に対する普遍的認識

#### ○ 目標

- 人権専門の弁護士輩出
- 人権保護、社会福祉分野の公職に進出する人材養成

### 3. 法政策学に特性化されたロースクール

#### ○ 背景：本校の行政複合都市キャンパスの建設

- 2012年に移転：国務調停室，財務部，企画予算処，公正取引委員会，建交部，農林部，海洋水産部，環境部
- 2013年に移転：教育部，文光部，産資部，中企庁特別委，科技部，情通部，保健福祉部，労働部，報勲処
- 2014年に移転：国政弘報処，中央人事委，国民苦衷処理委，法制処，国家青少年委，非常企画委，国税庁，消防防災庁，郵政事業本部

○ 目 標

- 法を通して国家社会発展に寄与
- 経済法分野（経済法，税法，関税法 等），海洋環境法分野（海洋法，環境法），教育法分野（教育法，教育政策），社会法分野（保健福祉関連法，社会法，労働法）公職に進出する人材養成
- 行政複合都市唯一のロースクールとして法政策学分野最高の名門への跳躍